

埼玉県指定無形民俗文化財

# 毛呂山町 出雲伊波比神社の

# やぶさめ

## 11月3日

### 秋のやぶさめ



▲ 正装した乗り子と馬をひく口取りの若者たち

◀ 11月3日のやぶさめ(夕的 14:30頃)  
15歳前後の少年が乗り子(射手)となり、3頭の馬が走る

## 3月第2日曜日

### 春のやぶさめ



3月第2日曜日の春のやぶさめ  
7歳未満の男児が乗り子(射手)となり、願的の矢を1本だけ射る(14:00頃)



春の乗り子の頭上に掲げられるオカイドリ(小袖)



毛呂山町マスコットキャラクター  
もろ丸くん

出雲伊波比神社のやぶさめは、流派による武芸ではなく、地域に伝えられてきた祭りとしての流鎧馬で、春と秋に行われています。秋の流鎧馬は15歳前後の少年が射手となり、祭りの日までみそぎを繰り返して流鎧馬にのぞみます。春の流鎧馬は幼な子が射手となります。どちらも地域から選ばれた少年が矢を放ち、地域が安らかであるよう願います。



# 秋のやぶさめ見どころ

※時間は予定です

## 11月1日 ノッコミ

11月1日からいよいよ的宿と呼ばれるやぶさめの中心宿に3人の乗り子が乗込みます。これをノッコミといいます。今夜から乗り子は的宿で、精進潔斎を続けながら11月3日の夕的に備えます。



◀ 的宿(本陣ともいう)

▼ 馬場仕度(9:00頃)



▲ 乗り子が的宿に乗込む(17:00頃)



夜、乗り子の花笠につける房を作る  
▼ 「房切り」という儀式を行う(19:00頃)

## 11月2日 重殿行き～焼米饗応～ミタラセ池での口すすぎ～神職家饗応

11月2日は重殿淵に行き、馬の口をすすぎます。その後、重殿淵の地元である前久保地区から焼米の接待を受けます。次に神社下のミタラセ池で再び馬の口をすすぎ、今度は神社で神職家から接待を受けます。



▲ 乗り子と矢取りの毛呂川での禊(12:00頃)

重殿淵へ向かう行列が町中を歩く(14:30頃)



▲ 前久保での焼米の接待(焼米饗応 15:00頃)



▲ ミタラセ池での馬の口すすぎ(16:00頃)

### やぶさめ豆知識

● **乗り子**: 毛呂山の流鏝馬では射手を乗り子と呼ぶ。春のやぶさめでは7歳未満の男の子が、秋は15歳前後の少年が務める。● **矢取り**: 祭りの前日から乗り子の世話をするため付添う年配者。● **口取り**: 主に馬を扱う若者たち。乗り子とともに流鏝馬までの準備期間を過ごし、乗り子が最後まで無事に流鏝馬が務められるよう行事を支えている。● **的宿**: 秋の流鏝馬の中心となる宿で、現在は毛呂本郷集会所を使用している。● **夕的・願的**: 夕的とは流鏝馬の本祭りのことで、流鏝馬のほかいくつもの馬上芸を行う。願的は夕的のはじめに一の馬が母衣武者姿で1回だけ矢を射る儀式のこと。● **焼米**: 11月2日、重殿行きの後、前久保地区で行われる接待で出される儀礼食。蒸した糯米と大豆を混ぜ合わせる。戦場の非常食ともいわれる。● **オカイドリ**: 春の流鏝馬の際、乗り子の頭上に掲げられる女性の着物(小袖)。母親をあらわし、乗り子を守護するともいわれている。



▲ 神職家饗応(17:00頃)

### 出雲伊波比神社のやぶさめ

出雲伊波比神社の流鏝馬の起源は、**康平6年(1063)**、源義家が奥州平定の後、臥龍山の八幡宮に流鏝馬を奉納したのが始まりと伝えられています。現在、春と秋の2回、流鏝馬を行っています。**【3頭の馬】**秋の流鏝馬は3つの祭馬区から1頭ずつ馬が出され、リーダーである一の馬、続いて二の馬、三の馬と順位が決まっています。また、一の馬は白で源氏を、二の馬は紫で藤原氏を、三の馬は赤で平氏をあらわしているともいわれています。**【春の流鏝馬】**春の流鏝馬は出雲伊波比神社の春祭りに行われます。江戸時代には8月15日に八幡宮で流鏝馬を催していた記録があり、春の流鏝馬はこの八幡宮の流鏝馬の流れをくむものと考えられますが詳細はわかりません。現在の春の流鏝馬では7歳未満の男児が射手となって願的のみを行います。**【出雲伊波比神社】**流鏝馬が奉納される当社は江戸時代まで「飛来大明神」、あるいは「毛呂明神」と呼ばれ、中世に毛呂郷を治めていた毛呂氏の氏神として信仰されていました。本殿は、戦国時代の**大永8年(1528)**に毛呂顕繁が再建したことが棟札に記されており、埼玉県内最古の神社建築として昭和13年に国宝に指定され、その後昭和28年に国指定重要文化財となりました。



# 11月3日 本祭り(夕的)

11月3日は本祭りの日。前日深夜の乗り子たちによる追出の餅つきに始まり、午後からの夕的に向けてさまざまな行事が行われます。夕的で乗り子が矢を放ち、祭りはクライマックスを迎えます。



▲ 夕的(15:00頃)

◀ 追出の餅つき(深夜)

朝的(あさまとう) ▶ (9:00頃)



▲ 夕的(願的 15:00頃)



▲ 乗り子は正装し、的宿から出陣(14:00頃)



▲ 追酒盛(おいさかもり)(13:30頃)

## 秋のやぶさめの主なスケジュール

9月~10月中旬	篠竹とり(的宿・各地区) 矢・花笠・神頭・爪ぎり作り(的宿) ブチ棒・ムチ・ノロシ作り(各地区) 朝的作り 夕的作り(各地区) 口固め 馬場結い(氏子総代) 馬小屋準備(各地区) 各宿の準備 後見会議
10月下旬	祭馬借入れ・馬主接待 稽古はじめ 馬印など祭具作り(的宿の口取り) ツト作り 祭具作り仕上げ(的宿・毛呂本郷)
10月31日	稽古じまい 乗り子のお精進(神社) ブチ分けの儀(第二祭礼区)
11月1日	的宿の準備 馬場仕度(氏子総代) 的宿へノッコミ 神官接待(的宿) 房切り(的宿)
11月2日	旗立て(長瀬) 焼米作り(前久保) 重殿行き 焼米饗応(前久保) 重殿御酒(的宿) ミタラセ池での馬の口すすぎ 神職家饗応(神社) 町廻り
11月3日	追出の餅つき(的宿)  大谷木家赤飯作り(大谷木家) 大谷木家参拝・赤飯奉納(大谷木家) 的奉納(各地区) 朝的 的更えの儀・野陣(神社) 追酒盛(的宿) 出陣の餅投げ(的宿) 夕的(願的・矢的・扇子 ・ノロシ・蜜柑・餅・鞭) 引継ぎの儀 直会(的宿) 神社へ御礼参り 祝宴・乗り子送り(各地区)
11月4日	片付け(各地区) 祭馬返し(各地区) ご大儀または道場払い(各地区)

## Yabusame of Izumo-iwai Shrine

Yabusame (horseback archery) is a martial art, which was performed by samurai warriors from the late Heian period until the end of the Kamakura period (approximately 700 to 900 years ago). The yabusame ceremony in Moroyama Town is celebrated at the Izumo-iwai Shrine every autumn. It is characteristic of the Moroyama yabusame that the arrows are shot by boys around fifteen years old. Starting from November 1, the young archers undergo purification and a number of other rituals before they attend the yabusame ceremony on November 3.

In Moroyama Town, yabusame is also performed in spring, when boys under seven become the archers.

In both spring and autumn, the sacred young boys shoot at targets with arrows imparted with divine power. People hope these arrows will convey their wishes to the divinity.



# 秋のやぶさめ 関連マップ

毛呂山の流鏝馬は、鎌倉時代から戦国時代の終わりまで、毛呂氏が領主として治めていた「毛呂郷」に属していた地区で今も行われています。現在ではその毛呂郷を大きく3つの祭礼区に分け、一の馬・二の馬・三の馬を順番に務めています。各祭礼区の中には今年の流鏝馬の当番となる祭馬区があり、祭馬宿(集会所)を拠点として流鏝馬の準備を進めていきます。11月1日以降、祭りの中心となるのは的宿(毛呂本郷集会所)となり、的宿には3頭の乗り子が集まり、禊やお籠もりをして11月3日の夕的をめざします。11月3日の早朝、毛呂氏の末裔といわれる大谷木家が赤飯を持って出雲伊波比神社を参拝し、本殿の扉が開かれて祭りが始まります。

大谷木氏参拝  
(11/3 5:30頃)

大谷木氏赤飯奉納  
(11/3 5:30頃)

各宿からの的奉納  
(11/3 5:00頃)

馬場上がる前の爪ぎりの儀  
(11/2・3)



夕的出陣前のわらしの清め  
(11/3 14:00頃)

第一祭礼区  
毛呂本郷



先導する3人の矢取り  
(11/2・3)



夕的出陣の餅投げ  
(11/3 14:00頃)

的更えの儀後の野陣  
(11/3 11:00頃)



勝海舟幟(町指定文化財)の旗立て(長瀬地区)  
(11/2 5:30頃)

前久保の焼米作り  
(11/2 5:00頃)



平成23年  
11/2の巡行路  
11/3のコース

第三祭礼区

前久保・平山・沢田  
大師一区・大師二区

第二祭礼区

小田谷・長瀬一区  
長瀬二区・長瀬三区

